

チェコの名ヴァイオリニスト、フランティシェク・ノボトニーさんによる無伴奏ヴァイオリン名曲の夕べの第3回です。

今回も大変意欲的なプログラムをご用意いただきました。

バッハは第1回がパルティータNo.2、第2回がソナタNo.3でしたが、今回はNo.1を、J.S. バッハとも親しく、バッハの次男エマヌエルの名づけ親でもあるテレマンの無伴奏ヴァイオリンのための12のファンタジーから第5番第10番と、J.S.バッハを規範とするM.レーガー：プレリュードとフーガ、そして近代のブロッホが続き、バッハを源流とする無伴奏ヴァイオリンの世界を旅していただきます。最後にはなんとノボトニーさんが2002年に東大寺大仏建立1250年に際して、大仏から得ていたインスピレーションをもとに大仏殿で即興的に演奏した「仏陀の印象」を再演していただきます。



6月26日(日)19:00 (開場 18:30)

会費：¥3,000 ¥2,000(ASK 会員)

会場：ギャラリー島田 B1F \*ご予約ください

František Novotný

# フランティシェック・ノボトニー 無伴奏ヴァイオリンソナタの夕べ No.3

## フランティシェック・ノボトニー



1964年チェコのズノイモ生まれ。ブルノ音楽院でコトメル教授に、そしてヤナーチェク音楽アカデミーでスメイカル教授に学んだ。20以上のヴァイオリン・コンクールで優勝、入賞や特別賞に輝く。ノボトニーはイタリア放送協会(RAI)主催のコンクールの受賞者でもあり、ヴェニエチアスキ国際コンクールのメダル保持者でもある。チェコ国内並びに海外の一流のオーケストラと共演を重ね、ヨーロッパ、日本、アメリカの名高いホールに登場し、60曲以上のレパートリーを披露している。彼のレパートリーにはバーンスタイン、コルンゴールド、バーバー、コープランド、ベルクといった作曲家の珍しい曲や知られざる曲が含まれている。日本には伊藤ルミとのコンサート・ツアーのために定期的に訪れている。録音は多数あり、珍しいものとしてはブロッホのヴァイオリン曲全集がある。ヤナーチェク音楽アカデミーの主任教授を務め、またスロヴァキア共和国ブラティスラヴァ音楽アカデミーの客員教授も務めている。チェコ共和国、フランス、日本、アメリカなどのマスタークラスでも指導し、「プラハの春2012」といった国際ヴァイオリンコンクールで審査員を務めている。

http://www.frantiseknovotny.com

## Program

- G. P. h. テレマン：無伴奏ヴァイオリンのための12のファンタジーから  
第5番 イ長調、第10番 ニ長調  
G. Ph. Telemann : 12 Fantasies for Solo Violin TWV40:14~25  
No. 5 in A Major and No. 10 in D Major
- J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 第1番 ト短調 BWV. 1001  
J. S. Bach : Sonata for Solo Violin No. 1 in g minor, BWV 1001
- M. レーガー：プレリュードとフーガ ロ短調 Op.117-1  
M. Reger : Prelude and Fugue in b minor, Op.117-1
- E. ブロッホ：無伴奏ヴァイオリンのための組曲 第1番 ト短調  
E. Bloch : Suite for Solo Violin No. 1 in g minor
- F. ノボトニー：仏陀の印象(即興曲)・・・自作自演  
F. Novotný : Impression of Buddha / Improvisation

予告「ミハル・カニユカ バッハ 無伴奏チェロ組曲 チクルス No.3」  
2016年12月8日(木) 19:00 ~ 限定40名 ¥3,000 (会員¥2,000)